

令和3年度 学校経営計画書

学校番号	101	学校名	富士市立高等学校	校長名	岩田 享
------	-----	-----	----------	-----	------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自律する若者 ～未見の我を探そう～

「挨拶の励行」「服装を正す」「学びの心を育てる」「夢をカタチにする」

本校は、「文化の興隆の根源は人に在り 人の啓発は教育に存す」と謳われている建学の精神を受け継ぎ、新たな教育理念CDI（「コミュニティ・ハイスクール」、「ドリカム・ハイスクール」、「探究・ハイスクール」）の実現に向け、学力の向上、探究する力、コミュニケーション能力、社会に貢献する意欲等を育て、「知・情・意」のバランスのとれた心身ともにたくましい「自律する若者」の育成に努め、自然と地域を愛し、富士市や社会に貢献できる人材を輩出する。

(2) 目標具現化の柱

- ア 「確かな学力」を身に付け、「主体的・対話的で深い学び」を実感できる「魅力ある授業」を展開できる学校
- イ 基本的な生活習慣、環境美化及び規範意識を身に付け、「豊かな人間性」や「良好な人間関係」を育てる学校
- ウ 魅力ある専門教育と学科の特色（「探究の精神（探究学習）」）を活かし、社会人としての資質・能力を身に付けるとともに、教育課程の充実に努め、キャリア教育を推進することにより進路実現を支援する学校
- エ 学校行事や部活動の充実に図り、自主性、協調性、たくましい心身を育成する学校
- オ 家庭・PTA・地域と連携した教育活動を推進し、保護者・地域から信頼される学校
- カ 教育環境の整備・充実及び予算の適正かつ効率的な執行を目指す学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生活及び学習習慣の確立	日々の生徒との関わりを大切に する。 ・毎朝の校門指導 ・毎朝の健康管理チェック (検温の徹底、新型コロナ対策) ・学習時間調査、Classiの活用 ・年4回以上の面接 ・計画的、効果的な課題の提示 (学年の教務、教科担当等で調整)	・朝読書の遅刻者延べ数各学年120人以内 ・週に5日以上、家で勉強している生徒60% ・平均90分以上家庭学習を行う生徒、各学年50%以上	生徒 教務 保健環境 学年
ア	魅力ある授業実践と授業力向上	教員校内研修を活かし、分かりやすい授業と学力の定着を図る。	・「授業の内容が分かる」生徒70%	教務 企画研究 教科

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア		<ul style="list-style-type: none"> ・教員研修週間年2回・出張時における代講・授業振替の励行 ・アクティブラーニングの推進 ・次年度実施に向けた観点別評価の研究・試行 ・授業の共有化と標準化 ・ICTの活用と実践、推進 ・「新しい学力」測定テストの活用 ・「高校生のための学びの基礎診断」測定ツールの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・70%以上の生徒が「授業に満足している」と答えた教員80%以上 ・授業共有フォルダーの活用 ・授業づくり評価シートの完成 ・新教育課程の見直し 	キャリア支援 学年ICT推進 指導主事
イ	学校の安心安全と生徒・職員の健康増進	生命尊重の意識の高揚に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の実施（年2回） ・交通街道指導の実施（年5回） ・1年生自転車運転技術チェック ・保健室・教育相談・生徒課情報交換会の実施 ・生徒の実態に即した保健講座の実施 ・「学校生活に関するアンケート」の実施（年2回） ・いじめ・体罰防止対策に努め、その兆候を見逃さない。（欠席理由の正確な把握といじめ案件に対する迅速な対応） ワークライフバランスの観点から働き方改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日での退庁推奨 ・部活動ガイドラインの趣旨を遵守し、部活動の計画的な活動及び休養日を設定する。 ・管理職による業務記録簿点検及び職員への声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車安全指導カード（年間50件以内）、自転車事故件数（昨年度より減） ・「学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる」生徒85% ・学年別に実施する保健講座後の意識向上率20% ・いじめを理由とする不登校、転退学者ゼロ ・体罰の撲滅 ・週3日以上午後8時以降に残留する職員の減少 	生徒保健環境 教育相談 学年管理職
ウ	高い志のもと進路実現のための進路啓発及び実績の向上	褒め、励まし、諭す指導と体系的なキャリア教育を推進する。また、教員の進路指導力と進学体制の充実に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な面接の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の将来に対する、はっきりとした夢や希望を持っている」3年生徒80% ・「学校での学びをきっかけに、さらに学びたいと思う」生徒60% 	キャリア支援 企画研究 学年学科

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ		<ul style="list-style-type: none"> ・大学等との連携及び外部講師の招聘（注） ・探究学習・キャリア教育の充実（注） ・進路啓発のための初期指導の強化 ・模試、共通テスト分析会の実施 ・ポートフォリオの充実及びキャリアパスポートの作成 ・大学入学者選抜周知のための保護者ガイダンスの開催 ・資格取得の奨励 ・英語4技能評価に対応した指導方法の研究、実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外模試の全国偏差値 50 以上の人数及び平均点偏差値の維持 ・進学（四大 100 名以上）及び就職内定率（100%） ・簿記検定 1 級合格率 80% 及び全商検定 1 級 3 種目以上合格者 15 名以上 ・英語資格・検定試験の準 2 級以上の受験者 150 人、合格率 40% 	学力向上・ 進路実績 教科
ウ	富士市立高等学校改革実施計画案の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・学校未来プロジェクトの創設（学校改革・魅力化、IR 推進、ICT 推進、学力向上・進路実現、部活動活性化） 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士市立高等学校改革実施計画（2021～2030）案の作成 	指導主事 学校改革・ 魅力化 IR 推進
エ	生徒の自主性・協調性及び目標に向かって挑戦する意欲と態度を育む	探究学習や特別活動及び部活動を通して、一人ひとりの資質や能力を最大限に伸ばせるよう支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・探究学習（「ディベート」「市役所プラン」「自分スピーチ」及び教科「探究」）の充実（注） ・生徒会、部活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題解決の道筋を予測し、課題を解決するための計画を立てることができる」生徒 75% ・「学校行事・部活動に満足している」生徒 90% ・海外探究代替研修の充実（生徒の満足度 90%）（注） 	企画研究 生徒 学科 学年 部活動活 活性化 指導主事
オ	家庭・PTA組織・中学校・地域との連携	相互の信頼関係を構築し、社会総がかりの教育を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・学科・学年別懇談会の充実（注） ・産官学と連携した教育の実践 ・新規 3 事業を加えた地域交流 9 事業（「人工芝で遊ぼう」「多世代交流サッカー」等）の主催及び地域活動への積極的な参加（注） ・学校運営協議会の充実 ・HPの更新（週 1 回以上） ・学校見学会、相談会の開催（年 14 回）（注） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年学科別懇談会の出席率 70%（注） ・「本校が地域に開かれた学校と感じる」保護者 85% ・地域交流の実績 40 回以上（注） ・「学校運営協議会の提言が学校運営に反映されている」と回答する委員 90% ・体育館・グラウンドの一般開放年間 200 日以上（注） ・庭球場の一般開放年間 90 日以上（注） 	総務 地域交流 キャリア 支援 情報管理 事務

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
オ		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問、出前学校説明会の実施 ・学校施設の適切な一般開放^(注) 		
カ	適正な事務の執行	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に合わせた適切なスクールバスの運行 ・学校食堂の適切な運営 ・省エネルギーの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月末現在のスクールバス利用者60人 ・食堂利用者の満足度80% ・電気使用量を前年度比減 ・コピー機の利用枚数を前年度比減 	事務

(注) 新型コロナウイルス感染症対策のため、事業が中止または延期された場合は適切に対処する。